



内灘高だより

令和4年度
第12号
NO. 1



時を守り、場を清め、礼を正

うち なた こう

(UD デジタル教科書体 font 使用)

令和4年度 全国高校選抜自転車競技大会 報告

令和5年3月10日(金)～13日(月)
福岡県北九州市：北九州メディアドーム

北岡 マリア (2年・星稜中出身)

- ・女子500mタイムトライアル **優勝**
- ・女子個人ロード **4位**
- ・女子スプリント **優勝**
- ・女子総合全国 **2位**



北岡マリア 選手

山下 翔太郎 (2年・港中出身)

- ・男子1kmタイムトライアル **2位**
- ・男子総合全国 **12位**



山下翔太郎 選

北岡マリア選手・・・全国選抜大会を通して、自分の今の実力を知ることができました。結果、良い成績を残すことができたのでとても嬉しかったです。サポートしてくださった方や家族、そしていつも応援してくださっている内灘町に感謝しています。応援ありがとうございました。

山下翔太郎選手・・・何度も練習したスタートダッシュを本番で出せたのが自分の中で嬉しかったです。本番の時まで、僕のことを優先してくれた周りの人達へは、とっっても感謝です。ありがとうございました。

全国入賞おめでとうございます！



第10回 内灘町町長賞授与式(3/2)

米田千紘さんは自転車競技部に所属し、8月の全国高校総体(香川県)で500mタイムトライアル2位、ケイリン2位。10月の国体(栃木県)で北岡マリア選手とチームスプリント優勝と活躍しました。米田さんは学業成績も常に優秀、基本的な生活習慣も確立しており、自転車競技で内灘町の名を全国に広げたことで表彰されました。



内灘町長賞受賞 米田千紘 (内灘中出身)

第35回 卒業証書授与式 (3/2)

卒業式は川口克則内灘町町長、清水文雄内灘町議会議長、桐山一人内灘町教育長、中根太介PTA会長、山上智之同窓会長、酒井紀幸内灘中学校校長のご臨席のもとおこなわれました。小篠聡校長より生徒一人ひとりに卒業証書が手渡され、生徒は緊張しながらも大きな声で返事をして卒業証書を受け取りました。小篠校長からは「これからの厳しい社会を乗り切るために、新たなものを創り出す【創造力の向上】と【人間力の向上】が求められる。身につけた知識を自分だけのものにせず、社会に貢献できる大人になってもらいたい。」と式辞がありました。生徒代表送辞は生徒会長2年宮本碧さん、答辞は卒業生代表で榎龍樹さんがおこないました。





内灘高だより

時を守り、場を清め、礼を正す

1年生 金融講座 (3/15)



講師：明治安田生命保険相互会社金沢支社 内部管理総務部長
伊藤 賢一 氏

人生100年時代といわれる現代において、自分自身を守る正しい「お金」と「保険」の知識を学び、心身ともに豊かに生きるための基礎力を培うことを目的に金融講座がおこなわれました。主に「リスクを学ぶ」「保険を学ぶ」「お金の運用を学ぶ」という3つの要素を学習しました。



令和5年度 前期生徒会役員選挙 (3/15)

次年度前期生徒会役員に6名の生徒が立候補しました。立会演説会で宮本会長は「学校の活性化のために頑張りたい」と抱負を話しました。演説終了後にクラスに戻り投票をおこなった結果、全員が信任されました。



会 長	宮本 碧(2年)	副 会 長	水瀧 龍成(2年)
副 会 長	道上 藍香(2年)	書 記	上田 勇煌(2年)
書 記	恒吉 樹(1年)	会 計	山田 怜奈(1年)



花植えボランティア (3/15)

学校北側の側道で内灘町切尔西フラワーサークルの依頼でボランティア希望者合計21名が花の苗を植えました。生徒はハートの形にデザインしてマーガレット、パンジー、ピオラを植えました。

先輩訪問

大森 啓隆さん 昭和63年度卒業 (第1期)

- ・金沢紙業株式会社 常務取締役
- ・有限会社 白藤商店 代表取締役
- ・一般社団法人 NAID JAPAN MEMBER 担当
- ・NLB 日本海リーグ 専務取締役

欲を持って
生きてください!

大森啓隆さん (1期)



中学3年時に高校の進路先を考えたときに、進路指導の先生から来年度、新しくできる高校があると知らされ、新設校なら何でもでき楽しそうだと思い迷わず内灘高校への進学を決めました。

高校卒業後は医療系事務に就職しましたが3年で退職しました。転職を考えていたタイミングで、たまたま新聞に入っていた広告に旅行会社の求人がありました。しかし、求人の条件には「短大卒」と書いてあり、私は高卒でした。本来、受験資格はありませんでしたが、どうしても営業職に興味がありこの会社で働きたいという強い気持ちから、あきらめきれず会社に履歴書を送り、履歴書が着くタイミングで会社に電話をかけました。会社の人事担当者から、採用条件を満たしていないので受験資格はないと断れましたが、それでもあきらめきれず、電話を終えたあと直ぐに会社に伺い直談判しました。会社の方に自分は高卒だけど3年間の社会経験があることをみて、落としてもらってもいいからとにかく試験だけは受けさせてほしいと懇願しました。私の必死さに会社の方も困り果てたあげく、採用試験を受けることができました。採用試験は、短大卒30人ほどの受験者がいる中で3次試験まで残り、会社に対する強い思いを話した結果、私1人だけが採用になりました。そして、この会社で運命の人と出会い、3回目の転職先の今の仕事へと繋がっていきました。

旅行社では企業、学校と先輩と2人で営業をしていました。ある時、2年越しに営業で回っていた学校の修学旅行の契約が取れたとき、先輩が会社の皆の前で「契約が取れたのは大森のお陰です」と言いました。正直、私は先輩について回っただけなのでこの言葉に驚いたと同時に、こんなことをサラリと言うこの「端保 聡」という人に一生ついていこう!と決心しました。その先輩が今の会社の社長(写真右→)です。この時から小篠 聡校長先生がいた学校でも修学旅行などでお世話になっていました。

端保 聡氏

Wさんです!

小篠 聡校長



・株式会社石川ミリオンスターズ 代表取締役
・金沢紙業株式会社 代表取締役

現在の仕事は、金沢紙業、白藤商店として、各企業の機密文書・機密データを確実に抹消廃棄し、裁断・廃棄後の紙などは再生資源としてリサイクルという仕事をしています。古紙の売買に関しては世界相場なので貿易だと思って商社的に世界規模の相場を楽しみながらやっています。今後は、現在ある複数社の関連企業で有能な後継者を育て、将来的に複合企業体にして新しい雇用を育てること。そして、会社をたくさん作って、頑張った人を社長に育てることが夢です。私が考える社長の資質とは「頭を使う・気を使う・時間を使う・身体を使う・お金を使う」ことができる人です。そんな社長をたくさん育てることが私の夢です。